

令和5年度 政令指定都市・中核市・特別区部会 事業報告

1. 活動テーマ

都道府県部会が中心となって実施した地域保健総合推進事業「健康危機管理における統括保健師間のネットワーク構築による効果的な保健活動の展開」に協力し、政令指定都市・中核市・特別区の立場から、健康危機管理における統括保健師間のネットワークについてのあり方や課題の検討を行い、ネットワーク構築による効果的な保健活動について整理した。

2. 目的

各自治体の健康危機管理における統括保健師間のネットワークの実態を把握し、効果的な保健活動につながる統括保健師間のネットワーク構築について考察し、今後の保健活動に活かす。

3. 実施状況

回	時期	場所	内容
1	6月10日(土)	Web会議	【第1回部会】(出席者:5名) ・令和5年度全国保健師長会の活動内容報告 ・年間活動計画、調査研究事業について
2	8月	メール協議	・地域保健総合推進事業の進捗状況及び内容確認 ・第2回部会(対面)に向けての調整
3	10月14日(土)	愛知県名古屋市市内会場	【第2回部会】(出席者:5名) ・地域保健総合推進事業の進捗状況及び方向性等内容確認 ・健康危機管理体制についての情報交換
4	12月	メール協議	・地域保健総合推進事業進捗状況及び内容確認 ・第3回部会に向けての調整
5	1月28日(日)	Web会議	【第3回部会】(出席者:5名) ・地域保健総合推進事業分析や課題抽出に関する意見交換
6	2月12日(月) *祝日	Web会議	【第4回部会】(出席者:5名) ・令和6年度地域保健総合推進事業企画についての検討、役割分担の確認

4. 結果・課題

政令指定都市・中核市・特別区それぞれの立場から調査結果の分析や考察を行うことで課題や好事例を把握することができた。今回の研究は好事例がよく収集されているが、自治体間での統括保健師間のネットワークを具体的にどう構築していくかが今後の課題と考察した。

5. 支部活動の特徴

地域保健総合推進事業の事業協力者となり、保健所と市区町村の両方の業務を担う部会の特色を活かして健康危機管理における統括保健師間のネットワークについての現状や課題の検討を行った。

6. 委員・支部長

氏名	所 属
○佃 美幸	足立区福祉部高齢者施策推進室 地域包括ケア推進課 認知症施策推進担当
荒川 緑	名古屋市守山区保健福祉センター保健予防課 課長
榊 乃里子	青森市保健部 青森市保健所 次長兼副所長
木櫛 聖子	熊本市健康福祉局健康福祉部健康づくり推進課 副課長
生田 寛子	大分市福祉保健部 大分市保健所健康課 西部保健福祉センター 参事